令和９年度　東城高等学校　県外からの生徒受入実施計画書

≪学校のＰＲポイント≫

○小規模校のため、一人一人に丁寧で手厚い指導ができ、授業とともに有栖ゼミ（月３回程度、月曜日放課後開催の私塾、年間１人¥3,000）を活用して、個の学力に応じた学習ができる。
（入学生の学力が必ず向上するデータが毎年出ています：全国学力診断テスト）。
○２校の姉妹校（台湾・アメリカ）との国際交流があり、各支援団体からの補助を活用して姉妹校を訪問することができ、海外での貴重な体験活動を行うことができる。
○東城町の特色や魅力を生かした東城高校だからできる体験・活動「地域で学ぶプロジェクト『東城学びのラボ』」により、就業体験（アルバイト等）やボランティア活動、社会体育文化活動を地域で行うことができる。
○令和９年度より、教育課程を改編。地域の方々と共に地域の魅力や課題について考える「地域未来共創プロジェクト」、自分の生き方あり方について考え必要な学習に取り組む「BEING」を設置。主体的で個別最適な学びができる。

≪受入実施計画の内容≫

県外からの受入人数

５名程度

実施に当たり県外の生徒へＰＲする取組

○東城町の特色や魅力を生かした東城高校だからできる体験・活動

「地域で学ぶプロジェクト『東城学びのラボ』」

① 地域での就業体験（アルバイト等）やボランティア活動を通して、地域の魅力や課題に気付き、総合的な探究の時間の課題研究につなげ、高大連携を行うことができるとともに、資格取得のための実務経験（福祉関係等）を積むことができます。

② 地域で行っている社会体育文化活動（各種スポーツクラブ、神楽等の地域伝統芸能等）に参加することで、少人数による部活動の有無や部員数に影響されず、活動を行うことができます。

○主体的で個別最適な学びができる！！

令和９年度より、カリキュラムを改編し、「地域未来共創プロジェクト」「BEING」を設置します。自分のやりたいをかたちにしていくことができます。

※東城高校だからできる体験・活動があります。

生徒の住まい、食事等

【住居の形態（下宿、寮等）】

・下宿

【受入可能人数】

［久吉邸］

・女子生徒１名（現在、女子生徒１名が入居）

［県職員公舎］

・高校生も居住可能に。受入最大４名

【月額】

［久吉邸］

・約 20,000～30,000 円（電気代、水道代含む、食事代は含まない）

※１日 1,000 円×宿泊した日数で計算する。

［県職員公舎］

・単身用　9,100 円

・世帯用　29,460 円（シェアする人数で割勘）

（電気代、水道代、食事代は含まない）

【食事の回数】

・朝夕２回：両施設ともに福祉施設で食事

【入居条件】

・自主・自立の行動ができる生徒

※寮ではなく下宿であるため、自己管理ができる生徒が望ましい。

【備考（地元からの補助等）】

・食事提供先の福祉施設で、就業体験（アルバイト等）を行った場合、食事代の免除がある。また、福祉施設での実務経験となり、資格取得について支援・指導をしてもらえる。

高等学校ホームページ等ＵＲＬ

【学校ホームページ】https://www.tojo-h.hiroshima-c.ed.jp/index.html

【公式 Instagram】https://www.instagram.com/tojo_hs/